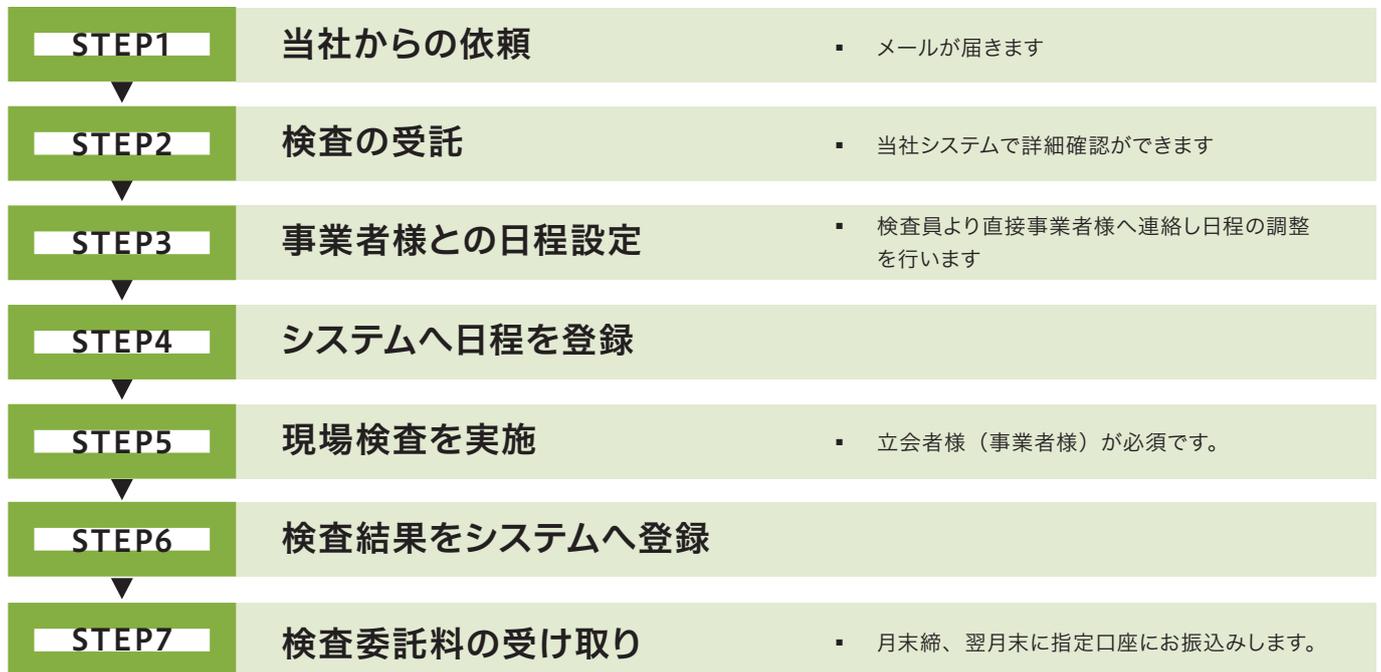


検査員の業務内容

検査員登録にあたり

- 検査員登録後は座学研修を行い、実務開始となります。（※実地研修はありません。）
- 検査マニュアルを用意していますので、心配なく対応いただける体制を整えています。
- 資格の種類や有無により委託内容が異なります。
- 検査のスケジュールから急ぎ検査依頼をさせていただく場合もあります。
- 既存住宅は、お施主様が住んでいることが多いため、検査希望が土・日・祝日となる場合があります。
- 既存住宅の検査では、リバウンドハンマー（大規模住宅の場合）の使用もありますが、当社から貸出しを行っていますので、購入していただく必要はありません。
- 機器の他に脚立を必要とする検査もあることから、車での移動を奨励しています。（キャリアカート等を活用し交通機関での移動を行っている検査員もいますので車は必須ではありません。）

業務の流れ



Check!

当社検査員の声



Iさん 52歳 (大阪府)

設計事務所の経営と現場検査員を平行しています。新築の瑕疵検査や、品質検査（鉄筋コンクリート構造）を担当することが多いですが、様々な現場をみることで自分自身とても勉強になっています。自宅近くの現場でこれまで培ってきたスキルを活かせるため、これからも続けたいと考えています。竣工した住宅をみるととても嬉しくなりますね。



Mさん 61歳 (千葉県)

定年を機に、現場監督や社内品質管理の業務で培ったスキルを活かそうと検査員に応募し、新築、既存問わず検査をしています。取次店としても登録したことで、事業者の物件の取次から検査までサポートできることにやりがいを感じます。また、性能評価や適合証明業務に関する改正に応じた知識の習得も日々の刺激になっていますね。

検査対象住宅

新築住宅（小規模住宅（階数3以下）、大規模住宅（階数4以上））

既存住宅（リフォーム、売買等）



検査内容

■ 新築住宅 小規模住宅（階数3以下）

回数	検査名	構造	タイミング
1回目	基礎配筋検査	共通	基礎配筋工事の完了後～コンクリートの打設前
2回目	躯体防水検査	木造	金物と耐力壁の施工後～断熱材や石膏ボードの施工完了まで
		鉄骨造	デッキプレートの施工後～コンクリートの打設前
		RC造	屋根スラブ配筋工事の完了後～コンクリートの打設前
3回目	追加防水検査 ※オプション	外壁の工法による	防水紙と防水テープの施工完了後～外壁材施工前

■ 新築住宅 大規模住宅（階数4以上）

回数	検査名	構造	タイミング
1回目	基礎配筋検査	共通	基礎配筋工事の完了後～コンクリートの打設前
2回目以降	躯体検査	鉄骨造	2階等の床のデッキプレートの施工後～コンクリートの打設前
		RC造	2階等の床の配筋工事の完了後～コンクリートの打設前
最終回	防水検査	共通	防水材料の施工後～仕上げ材の施工前

※階数10以上では、躯体検査の回数が2回目以降、階数が7増えるごとに1回追加します。（具体的な実施階は17階、24階、31階…）

● 既存住宅

検査名	検査内容
現況検査	建物の現況について劣化事象等の有無を確認する検査
施工中検査	構造躯体や防水紙の新設・撤去・交換を行うリフォーム工事完了時に施工状況を確認する検査
完了後検査	リフォーム工事完了時に施工状況を確認する検査
増築基礎配筋検査	増築の基礎配筋工事完了時に施工状況を確認する検査（新築同様）
増築躯体防水検査	増築の躯体防水工事完了時に施工状況を確認する検査（新築同様）



Point!

当社は瑕疵保険法人のほかに、
住宅性能評価機関・
適合証明検査機関でもあるため
『建設住宅性能評価』
『適合証明の検査』も行っています。

